

Jゼミのふし発表会が行われました！ 12月6日(木)

●8月の中間発表会を踏まえて、より深まった研究成果を発表しました！

新入大会に期末考査など忙しい中、全ての班が7分間の発表と3分間の質疑応答を終えることができました。今回は校長先生をはじめとする先生方による審査もあり、生徒たちは緊張していたように見えたが、いざ発表が始まると、堂々と自分たちの研究成果を発表していました。

国語班①:「私たちは「敬」から逃れられない!」



敬語がどうなっていくのか、中国と比較して考察しようとしています。日本と中国で身分差がなくなった時代に着目し、敬語に対する興味深い見方を提示しました。

国語班②:「記憶に残る暗記法」



動作と記憶には関係があるのか、など実験やアンケートを使って考察しています。実際に自分たちのクラスで実験し、導き出した良い暗記法を提案しました。

英語班①:「人の心のつかみ方 ～歴代アメリカ大統領就任演説にみる～」



高校生になり自分の意見や考えを人前で話す機会が増えた生徒たちにとって、非常に役立つ研究です。演説の共通点を導き出すために、多くの資料を読み込んだようです。

英語班②:「IRは必要か、そうでないか?」



7月に可決されたカジノ法案の中のキーワードであるIRについて研究しています。他国と比較した日本の特徴にまで着目し、今後の日本はどうすればよいのか考察しています。

英語班③:「Formula for a great hit the findings from comparing fairy tales with animated movies」



魔法の特別感をあげるために、あえてアニメーション映画では現実感を増す設定を行っている、という興味深い仮説から始まっています。スライドが非常に美しく工夫されていました。

地歴公民班①:「北方領土について」



日本の対外問題について考えたこの班は、日本の領土問題について考察しています。「世界遺産」というキーワードを用い独自の展開をすることで、新しい見方や考えがないか探っています。

地歴公民班②:「これから来るのは〇〇世代!？」



研究を完成させることで自分たちを深く理解したいと考えるこの班は、アンケート調査を通して独自のパターンに分類し、考察を進めています。1年生も興味津々でした。

地歴公民班③:「都市を発展させるために (小松市の発展)」



アンケート結果を用い、都市を発展させるために必要な4要素を出して、比較検討を行っています。自分たちが住む小松市の親しみやすさという観点から、新たな魅力を探っています。

●夏に比べて深まった研究成果であったため、それに対する質問もより難しく高度なものでした。最終発表会に向けて、自分たちの足りないところを改善しつつ、さらにレベルの高いものにしようと改めて決意しました。



★「人文科学コース」今後の予定★

- ◎12月11日(火)～12月15日(土) 海外交流研修(台湾)
- ◎1月22日(火) Jゼミ最終発表会
- ◎1月29日(火) NSH課題研究合同発表会